

瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター
琵琶湖水質担当
平成9年3月3日 第48報

植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	40		
(黄鞭) <i>Mallomonas</i> sp.	40		
(珪) <i>Melosira granulata</i>	60		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	260	◎	○
(珪) <i>Synechra acus</i>	20		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	80		
(珪) <i>Nitzschia</i> sp.	20		
(珪) <i>Cymatopleura solea</i>	4		
(渦) <i>Gymnodinium helveticum</i>	4		
(褐) <i>Cryptomonas</i> sp.	140	○	◎
(褐) <i>Rhodomonas</i> sp.	120		
(緑) <i>Chlamydomonas</i> sp.	20		
(緑) <i>Pediastrum biwae</i>	64		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	80	9.2	6.5
(珪) 珪藻綱	444	50.9	40.4
(渦) 渦鞭毛藻綱	4	0.5	10.2
(褐) 褐色鞭毛藻綱	260	29.8	33.0
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	84	9.6	9.8
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	872	総体積	7.83E+05
種類数	13	(μm^3)	

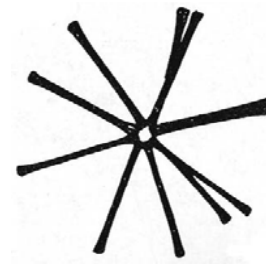
- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)
ただし * 印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は◎が第1優占種、○が第2優占種
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から
試験的に推定した概算値である。

植物プランクトン優占種

第 1 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
珪藻綱	<i>Asterionella formosa</i>	260

第 2 優 占 種		細胞数 (細胞数/ml)
褐色鞭毛藻綱	<i>Cryptomonas</i> sp.	140

植物プランクトン第1優占種



Asterionella formosa
(ホシガタケイソウ)
珪藻綱

4~32個の細胞が端で接着し、ホシガタの群体を作る。細胞の殻面を見ると(通常は殻環面が見えている)両端が丸くなった長い棒形をしている。琵琶湖では以前から多く見られる種類である。

植物プランクトン第2優占種



***Cryptomonas* sp.**
(クリプトモナス)
褐色鞭毛藻綱

体は長楕円であり、頂端は少しへこんで消化道を形成している。等長の2本の鞭毛を持つ。通常2個の大きな葉緑体を持ち、その色は黄色、褐色、赤色、赤褐色などさまざまである。